

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校～

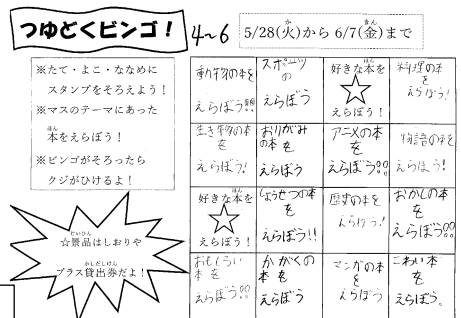
読書活動の推進

読書は、子どもたちの豊かな情操を育むとともに、想像力・語彙力・集中力を高めるよさがあります。遷喬小では、毎週木曜日に読書の時間を設定しています。また、毎月23日を「うちどくの日」とし、家庭学習で読書を行うようにしています。「うちどくの日」には、各家庭で、読書のお声かけをよろしくお願いします。委員会活動でも、読書を推進する取組を行っています。5月28日（火）から6月7日（金）までを「読書週間」とし、「ビンゴカード」を期間中に達成したら、くじを引いて「オリジナルしおり」がもらえる工夫をしています。

動画視聴が増えて
いる昨今です。子ども
たちが活字に触れる
機会を大切にしたい
ですね。



図書司書の「おすすめの本」コーナー



図書委員会児童がつくった
「ビンゴカード」

野外活動

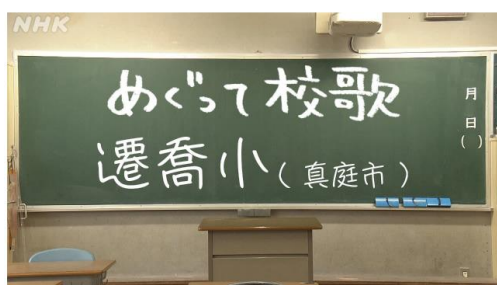
5月30日（木）31日（金）、5年生が国立吉備青少年自然の家に野外活動に行きました。カッターこぎやキャンプファイヤーなどの活動を通して、5年生の子どもたちのチームワークがさらにアップしたはずです。野外活動を通して学んだことを、遷喬小の高学年として、しっかり発揮してくれることを期待しています。





めぐって校歌～遷喬小～

5月17日(金)にNHK「もぎたて」の中で放送された「めぐって校歌」がNHK岡山webレポートにアップされています。つぎの二次元コードからも見ることができます。ご覧ください。



遷喬小150年の軌跡③

旧遷喬小学校は、明治40年7月に開校しました。当時の久世町の年間予算額が約6600円(現在価値に換算すると約25億円)に対し、学校建設費は約1万8000円(現在だと約75億円)で、町予算の約3年分に相当する費用を投じて建設されました。福島県出身の建築技師 江川 三郎八さんの設計により、「江川式建築」の代表作ともいえる細部まで丁寧な装飾をほどこした外観と内装の校舎となりました。江川さんが設計した建物は、旧遷喬小学校のほか、吹屋小学校など、県内にいくつか残っており、その多くが重要文化財として守られています。旧遷喬小学校は、平成2年までの84年間校舎として使用され、平成11年に国の重要文化財に指定されました。「ALWAYS 三丁目の夕日」や「火垂るの墓」等、映画やドラマのロケで使用されました。岡山県を代表する歴史的建造物といえる旧遷喬小学校です。



明治40年7月20日校舎完成式典の様子